

## 戦後50年・戦争体験手記 ○

○あの日、あの時のこと

## 中支で忘れられないこと

中村清治（古津）

今七十七歳、毎日が楽しく暮

らせる。物資は沢山あり、何の不自由もない生活ができる幸福を思う時、若かりし兵隊当時の事が目の前にちらつく。潔く散つていた若かりし紅顔の我が友達の事が一つ二つ強烈に思い出されるでならない。

故国日本の復興と発展を願いとして、戦死者に対する生き残った俺達は妻子の愛し方も人生の楽しみ方もろくに知らず、ただ働く外にないよう働き続けて、今日の復興が出来たのではないかだろうか。日々老いて行く毎日を思うとき、在りし日の苦樂と共にした若かりし青春期の中支の戦場の一駒を追憶して、供養せずにいるれない。

昭和十三年徵集され、徵兵検査で甲種合格。吾が家は婦二人嫁に行き、老いた父親と病弱の母親を残して、十四年五月一日新登田聯隊第七中隊に入隊した。初年兵教育は厳しく、中の訓練の時、留守の父母の事などは忘れるが、消灯後はどうなるものかと思う。三ヶ月後、なつかしの兵舎を後に、現役兵の初めての補充要員として中支の第五十一大隊に入隊され、亦が新登田聯隊第七中隊に入隊した。二十二年八月まで人間扱いでなく、食物が少なく、みんな

昭和十七年五月二十七日は昔

十六聯隊に向かつて、大阪港より出港した。暑い船中、船酔いもなく、元気で上海吳淞上陸。生々しい戦跡を見て、戦地に来た実感がないといった若かりし紅顔の我が友達の事が一つ二つ強烈に思い出されるでならない。

故国日本の復興と発展を願いとして、戦死者に対する生き残った俺達は妻子の愛し方も人生の楽しみ方もろくに知らず、ただ働く外にないよう働き続けて、今日の復興が出来たのではないかだろうか。日々老いて行く毎日を思うとき、在りし日の苦樂と共にした若かりし青春期の中支の戦場の一駒を追憶して、供養せずにいるれない。

昭和十三年徵集され、徵兵検査で甲種合格。吾が家は婦二人嫁に行き、老いた父親と病弱の母親を残して、十四年五月一日新登田聯隊第七中隊に入隊した。初年兵教育は厳しく、中の訓練の時、留守の父母の事などは忘れるが、消灯後はどうなるものかと思う。三ヶ月後、なつかしの兵舎を後に、現役兵の初めての補充要員として中支の第五十一大隊に入隊され、亦が新登田聯隊第七中隊に入隊した。二十二年八月まで人間扱いでなく、食物が少なく、みんな

昭和十七年五月二十七日は昔



十六聯隊に向かつて、大阪港より出港した。暑い船中、船酔いもなく、元気で上海吳淞上陸。生々しい戦跡を見て、戦地に来た実感がないといった若かりし紅顔の我が友達の事が一つ二つ強烈に思い出されるでならない。

故国日本の復興と発展を願いとして、戦死者に対する生き残った俺達は妻子の愛し方も人生の楽しみ方もろくに知らず、ただ働く外にないよう働き続けて、今日の復興が出来たのではないかだろうか。日々老いて行く毎日を思うとき、在りし日の苦樂と共にした若かりし青春期の中支の戦場の一駒を追憶して、供養せずにいるれない。

昭和十三年徵集され、徵兵検査で甲種合格。吾が家は婦二人嫁に行き、老いた父親と病弱の母親を残して、十四年五月一日新登田聯隊第七中隊に入隊した。初年兵教育は厳しく、中の訓練の時、留守の父母の事などは忘れるが、消灯後はどうなるものかと思う。三ヶ月後、なつかしの兵舎を後に、現役兵の初めての補充要員として中支の第五十一大隊に入隊され、亦が新登田聯隊第七中隊に入隊した。二十二年八月まで人間扱いでなく、食物が少なく、みんな

昭和十七年五月二十七日は昔

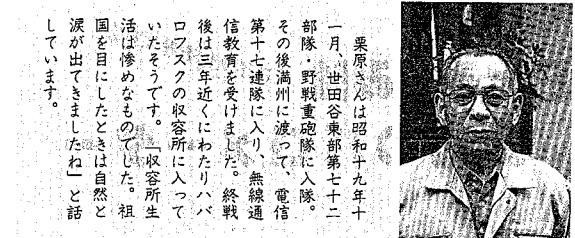
## 私の青春を振り返る

栗原

一郎（荻島）

※ご本人の都合により、体験手記文のみ掲載します。

栄養不良で、勤くのもやつと、よくあの寒い中、作業したものだ。こうして何度も死線を越えて生きていこうのだ。ありがとう。

無き戦友よ　こいねがわくば  
ご加護を垂れ給わんことを祈る  
合掌

栗原さんは昭和十九年十一月、世田谷東部第七十二部隊・野戦砲隊に入隊。

部隊に入隊後、北方松輪島で終戦を迎え、その後シベリアに抑留。二十二年八月まで人間扱いでなく、食物が少なく、みんな

地に帰る為、紫金嶺出発、南京より朝鮮を経て、十一月二十六日、新発田で除隊。十九年二月十一日、再度召集され、亦が新登田聯隊に入隊後、北方松輪島で終戦を迎える。その後シベリアに抑留。二十二年八月まで人間扱いでなく、食物が少なく、みんな

私が高等小学校を卒業する前年の一九三八年四月には、国家総動員法が公布され、十月には武漢三鎮を占領の報道がなされた。次第に戦域が拡大しつつあった。一九三八年、私が高一のとき満蒙開拓青年義勇隊の隊員が我が家が母校より一人選抜されるので、新潟港中央埠頭まで歓送を行った。その頃は食糧増産と軍事工場生産増強に入り、やがて國民徵用令が公布され、一九四〇年の収容所に入つて、電信第十七連隊に入り、無線通信教育を受けました。終戦後は三年近くにわたりハバロフスクの収容所に入つていたそうです。「収容所生活は惨めなものでした。祖国を目にしたときは、自然と涙が出てきましたね」と話しています。

翌々日世田谷東部第七十二部隊・野戦砲隊へ無事入隊。翌日には冬服が支給され、真新しい新兵さんとなる。二日後には満州派遣の命令が出、夕食後軍用列車に乗り込む。駆走して間もなく、多摩川の鉄橋を渡り始めた頃、品川工業地帯はB29による爆撃で炎が赤々と見ええた。渡渉後は電信第十七連隊に編入され、翌年八月九日ソ連軍侵攻により交戦し、十五日の終戦放送は敦河の山中に聴いた。十一月にはソ連軍に連行され、ハバロフスクの奥地收容所へトラックで送り込まれた。そこが収容所だった。戦争体験手記を冊子にまとめて、希望者に無料で差し上げます。冊子には体験手記のほか、戦争体験者が保存している貴重な資料、市民の方から寄せられたお手紙などを掲載します。

なお、お預りは来年一月末日を予定しています。くわしいことは、広報にいつでお知らせします。

冊子にし

お買物、ご用命は市内で



平日	AM 9:00~12:00	外来受付
AM 1:00~3:00	手術時間	外来受付
PM 3:00~6:30		
土曜日	AM 9:00~12:00	外来受付
PM 1:30~3:00	処方食・フード	
日曜・祭日(予約)	AM 9:30~11:30	外来受付

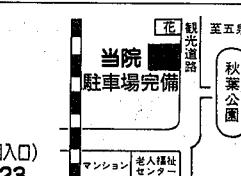
動物家族の一員です。

診療時間

内

秋葉2丁目(秋葉公園入口)  
Phone 24-2223

犬・猫・小鳥・小動物診療
内分泌科
皮膚科
犬・人工授精科
動物コンサルタント
処方食・フード
グルーミング
ホテル



新津店 本町一丁目 ☎ (24)3355代 新潟店 古町九番町 ☎ 025(228)5881

内科・小児科・レントゲン科  
大坂医院  
新町1丁目6-12 TEL 245122